

地域密着型通所介護事業所「ソラノイロ」運営推進会議（第13回） 議事録

開催日時 令和6年11月8日（金曜日）13:00～14:00
場所 五本木住区センター 第一会議室（目黒区中央町2-17-2）
参加者 ご利用者：伊〇様、磯〇様
ご家族：磯〇様（磯〇様の奥様）
地域住民の代表者：大〇様
目黒区介護保険課：鈴〇様
当該サービスに係る識者（整体師・訪問介護職）戸〇様
感染症に専門知識を有する者：鈴〇様
ウィズスカラーズ株式会社代表：上浦一朗
ソラノイロ管理者：野口大輔

1. 開会の挨拶、会議参加者の紹介
2. ソラノイロでの現状の報告（参考資料あり）
 - ① 通所されている利用者の方々について（ご年齢、男女比、平均介護度）※参考資料：別紙①
 - ② 職員の体制 ※参考資料：別紙②
 - ③ イベント ※参考資料：別紙③
 - ④ 事故やヒヤリハットの状況 ※参考資料：別紙④
 - ⑤ 防災・避難・通報・初期消火訓練の実施状況（令和6年9月18日） ※参考資料：別紙⑤
 - ⑥ 地域との連携 ※参考資料：別紙⑥

3. 質問・要望・助言等

・磯〇様（利用者ご家族）：いつも親切で、明るい。連絡帳などでも、しっかり様子を伝えてくれる。本人は外出も好きなので沢山連れ出してほしい。ただ、会話が少なくなってきたので、沢山話しかけてほしい。

A：外出などは、気分転換や歩行訓練、他者との会話も弾むので、様々な効果がありますので、出来る限り実施していきたいと思います。ソラノイロでは会話も大事にしていますので、会話がしにくい方でも、会話を引き出しサポートさせていただきますので大丈夫です。

・大〇様（民生委員）：一日の活動の中で、個々やることを選択幅はありますか？

A：基本的に同じ事を実施する事が多いですが、同じ事でも内容を変えたりなど変化をつけて実施していただいています。やりたいことがある方、見つかった方などは出来るだけやりたい事をしていただいています。

・鈴〇様（看護師）：防災訓練をやる機会を作る事自体、意味があると思います。

A：はい。これからも続けていきます。実施した以外の曜日でも実施をしていきます。

・伊〇様（利用者）：もう 10 年くらい楽しく通わせていただいています。麻雀も将棋も楽しいです。

A：とてもうれしいです。これからもよろしくお願い致します。

・鈴〇様（目黒区健康福祉部介護保険課）：消防訓練について、消防署の方から安全に避難できるように良い助言はありましたか？

A：まず焦らないこと、スタッフの指示に従うこと。の 2 点が特にお伝えしたいところということでした。

・戸〇様（当該サービスに係る識者）：金曜の体操の時間を担当させていただいているのですが、ソラノイロに来ている利用者様は 90 分も体操を実施していますが、集中力がすごくてびっくりしています。普通は 5 分～10 分だと思いますが、他のデイサービスでこれだけやっているところは他にないと思います。

A：戸〇さんが疲れすぎないように、うまくペースを調整しながらやってくれてはいると思うのですが、それでも、80 代、90 代、100 代の方でも疲れず、最後までしっかり参加されているところを見ると、ソラノイロに来ている利用者様は元気で生き生きとされているなと実感します。

4. 「感染症対策の強化に関する委員会」および「高齢者虐待防止の推進に関する委員会」について

「高齢者虐待防止の推進に関する委員会」について

・資料を元に、説明し、理解を高めていただきました。

「感染症対策の強化に関する委員会」について

・鈴〇様（看護師）：担当者を決め、常に換気することは良いと思います。ただ、手のアルコール消毒について、手荒れなどがある場合はアルコールの効果が無くなってしまうので、対策が必要かと思います

5. 閉会

以上

別紙① 通所されている利用者の方々について（ご年齢、男女比、平均介護度）

2024年11月8日現在

NO	イニシャル	性別	年齢	要介護度	
1	K様	女性	79	1	1
2	I様	女性	93	4	4
3	N様	女性	92	2	2
4	H様	女性	92	5	5
5	K様	女性	97	4	4
6	O様	男性	84	2	2
7	K様	女性	80	1	1
8	F様	女性	89	2	2
9	Y様	女性	95	2	2
10	S様	女性	94	3	3
11	K様	女性	95	1	1
12	S様	女性	87	1	1
13	O様	女性	92	3	3
14	U様	女性	88	1	1
15	K様	女性	100	要支援2	0
16	M様	女性	88	3	3
17	A様	女性	96	1	1
18	O様	女性	87	2	2
19	O様	男性	89	1	1
20	H様	女性	97	1	1
21	Y様	女性	91	2	2
22	M様	女性	82	2	2
23	S様	女性	91	1	1
24	M様	女性	87	3	3
25	N様	女性	90	3	3
26	I様	男性	94	3	3
27	K様	女性	84	1	1
28	K様	女性	83	4	4
29	O様	女性	82	3	3
30	K様	男性	89	5	5
31	M様	女性	88	2	2
32	T様	女性	78	1	1
33	H様	女性	89	3	3
34	M様	男性	77	1	1
35	S様	女性	88	2	2
36	M様	女性	80	1	1
37	I様	女性	91	1	1
38	U様	女性	74	2	2
39	I様	女性	81	2	2
40	A様	男性	83	3	3
41	M様	男性	79	1	1
42	A様	女性	80	要支援2	0
43	S様	女性	81	1	1
44	M様	女性	87	2	2
45	Y様	女性	83	1	1
46	M様	男性	65	1	1

男性	8名
女性	38名
男女比	16対38
平均年齢	86.8
平均要介護度	2.1

別紙② 職員の体制

❖ ソラノイロでは、定員 13 名に対し、職員 4 名の体制で対応しています。4 名の他に創作活動や体操を専門的に行うアルバイトがいます。また、麻雀、将棋、臨床美術、外出レク手伝い、私のものがたり（自分史作成）などを行ってくれるボランティア（有償ボランティア含む）の方にも来ていただいています。

社員	3 名
男性	2 名
女性	1 名
アルバイト	8 名
男性	0 名
女性	8 名
平成 31 年(1 月－)	採用者数 1 名
	離職者数 2 名
令和 2 年(1 月－)	採用者数 1 名
	離職者数 0 名
令和 3 年(1 月－)	採用者数 0 名
	離職者数 0 名
令和 4 年(1 月－)	採用者数 0 名
	離職者数 0 名
令和 5 年(1 月－)	採用者数 1 名
	離職者数 0 名
令和 6 年(1 月－)	採用者数 0 名
	離職者数 0 名
令和 2 年 11 月 1 日現在ボランティア	14 名
令和 3 年 10 月 1 日現在ボランティア	16 名
令和 4 年 3 月 1 日現在ボランティア	19 名
令和 4 年 11 月 1 日現在ボランティア	16 名
令和 5 年 3 月 1 日現在ボランティア	16 名
令和 5 年 11 月 1 日現在ボランティア	17 名
令和 6 年 3 月 1 日現在ボランティア	17 名
令和 6 年 11 月 1 日現在ボランティア	16 名

別紙③ イベント *写真撮影時のみマスクを外しています。

鰻の日



増上寺（港区芝）へ外出



創作活動（海）



音楽を使つての機能訓練体操



ハロウィン（夢花保育園との交流）



九品仏（世田谷）へ外出



別紙④ ヒヤリハット、事故の状況および今後の改善策（主なもの）

内容	改善策
<p>トイレに行く際に、椅子から立ち上がろうとしましたが、その瞬間に立位が保てなく倒れそうになった。</p>	<p>手引きがきちんと出来ていなかった。</p>
<p>認知症の利用者様が、朝の到着時、他の方の降車対応中に自ら車のドアを開けて車外に出そうになってしまったが、なんとか間に合った。ドアの鍵を閉め忘れていた。</p>	<p>奥の座席に座っていただき、ドアの施錠を確認、他のスタッフに見てもらうなどし、再発のリスクを減らす。</p>
<p>入浴対応時、利用者様が手すりに掴まりそこない、転倒しそうになった。しっかり手すりに掴まっていることを確認しなかった為。</p>	<p>利用者の体をしっかり押さえて、バランスをとり、ゆっくり手すりに掴まってもらう。</p>
<p>体重計に乗る際に、ふらつきが大きく、転倒しそうになった。</p>	<p>体重計に乗り、目を離さず、バランスをきちんととって乗っていただく介助をする。</p>
<p>突然帰り支度をして、室内から扉を開けて外に出ようとした。その時だけフロアが手薄だった。帰宅願望が強い利用者様。</p>	<p>フロアにスタッフがきちんといて、見守りするようし、対応する。</p>

別紙⑤ 防災・避難・通報・初期消火訓練の実施状況

開催日時：令和6年9月18日（水） 午後1時15分より

参加者

- ・ソラノイロスタッフ 5名
- ・ご利用者 11名

開催場所：ソラノイロ

実施内容：スタッフからの話（避難経路、避難灯、熱感知器、消火器の説明、緊急通報方法の説明）

・質疑応答

「消火器から出る消火剤は何秒ぐらい出ているか」ご利用者様⇒「15秒です」消防署員

「火事の場合、煙はなるべく吸わないようにすべきだと思いますが、どのようにすればよいですか？」ご利用者様⇒「煙は上に上がるものですから、できれば低姿勢で口にハンカチなどあれば充てながら移動してください。火事で一番恐ろしいのは火炎より煙です。」消防署員

「実際、逃げなくてはいけないとき、どうすればよいですか？」ご利用者様⇒「職員さんの指示に従ってください」消防署員

・避難訓練

全員で外に出る訓練

※まとめ：日頃から防災対策をしておくことが重要。高齢者施設での対策や現実に備えた日頃の備えはとても重要で、介護スタッフの防災に対しての学び、取り組みが必要だと思いました。

別紙⑥ 地域との連携

- ① 年に何度か近くの目黒区郷土資料館を訪問し、資料館職員の方から各区の歴史の説明を受けている。
- ② 社会福祉協議会や郵便局へのチラシの設置などから、地域ボランティア（有償含む）の方にお手伝いをいただいている。
将棋、麻雀、臨床美術、手品など。
- ③ 近隣の「夢花保育園」の園児と交流している。（ハロウィンの日には園児へお菓子プレゼント、ハイタッチ、会話など）